

各教科及び道徳	学習状況	指導上の課題	改善の計画	評価の方法
<p>国語科</p>	<p>音読、読書に意欲的に取り組むことができている。漢字の学習においては筆順や読み書きに抵抗を感じている。順序や内容の中心を意識して読むことや、相手に伝わるように工夫して書くことを意識しながら取り組んでいる。 「書く」機会が少なくなっていることで、既習の漢字の読み書きに課題がある。音読の際に、読み飛ばしや読み間違い・読み替えが多い。</p>	<p>① 順序に気を付けて簡潔に話すことや、大事なことを落とさず最後まで聞くこと。 ② 大事なことを落とさず、伝えたい事柄を簡潔に文章に表すこと。 ③ 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うこと。漢字の筆順を意識して書くこと。 ④ 既習の漢字を読んだり書いたりすること。 ⑤ 正しく文章を読むこと。</p>	<p>① 順序を表す言葉を意識しながら筋道を立てて話す場や、話の中心に気を付けて聞きながら自分の考えをまとめる場を朝の会のスピーチなどで設定する。 ② 題材や作文のテーマを工夫し、意欲的に書いたり読み合ったりできる学習過程を設定する。文章構成メモを活用しながら、文章の組み立てを考えさせる。 ③ 学習した漢字を文や文章の中で使う機会や家庭での学習を増やす。漢字の筆順や読みを必ず確認する。 ④ 授業中や家庭学習で取り組み、定着を図る。 ⑤ 授業の中で音読する際、正しく読むためのポイントを示し、指導する。また、毎日の音読で「正しく読めているか」を家庭でも評価してもらう。</p>	<p>毎時間ねらいに沿った評価を設定し、発表内容や授業の様子やノート記述等から評価する。 評価テストを活用して、学習内容の定着を確認する。 漢字の小テストで定着度を確認する。</p>
<p>社会科</p>	<p>自分たちの住んでいる町について調べたり、比較して気付いたことをまとめたりすることに意欲的である。 市内の施設に興味をもっているが、市の東側に行ったことのない児童も多い。</p>	<p>① 地域社会の様子や特色に気付き、事象と事象を関連付けること。 ② 地図等の資料を読み取ること。</p>	<p>① 作業的・体験的な学習を積極的に取り入れ、実感を持ちながら学習できるようにする。(社会科見学・新聞作り・学習者用端末の活用など) また、気付いたことについて学級全体で話し合う活動を積極的に取り入れる。 ② 方位の理解や地図の読み方等基礎的なことは、繰り返し指導する。</p>	<p>発表やノート、新聞などの記述等から気付きや分かったこと、まとめ方を評価する。 評価テストを活用して、学習内容の定着を確認する。</p>
<p>算数科</p>	<p>基礎コースでは、学習内容を確実に習熟できるよう、教科書の例題類題に取り組んでいる。発展コースでは、より多くの練習問題を解き、習熟を図るとともに、自分の考えの発信にも重きを置いて、意欲的に取り組んでいる。 補充コースでは、前学年までの学習内容の理解が不十分な場合もある。</p>	<p>① 基礎の定着。簡単な絵や図、式に表して、自力解決すること。他者に自分の解決方法を説明すること。 ② 時間の適切な単位を用いて、時刻や時間を求めること。 ③ 水のかさや長さの単位関係を整理し、適切な単位の選択ができること。 ④ たし算やひき算、かけ算の計算をすること。</p>	<p>① 基礎的なことを繰り返し指導する。絵や線分図に表して考える方法(手だて)を具体的に例示し、指導する。解決の見通しを共有させ、習得した手だてを活用させるようにする。 ② デジタル上の時計や数直線を使って考えさせる。 ③ 身の回りのものと関連付けながら、測定する活動を積極的に取り入れる。 ④ デジタルドリルを活用して計算の習熟をさせる。</p>	<p>活用した手だてや答えを導き出すまでの一人一人の考え、用語や用具の使い方を、ノート記述や発表、説明で評価する。 評価テストを活用して、学習内容の定着を確認する。</p>
<p>理科</p>	<p>身近な生物や自然について意欲的に観察したり、調べたりしている。</p>	<p>① 器具を正しく用いて、観察・実験に取り組むこと。 ② 違いや共通点に気付き、問題点を見つけること。</p>	<p>① 器具を用いた活動を増やし、器具の操作に慣れるようにする。 ② 導入で工夫した2つの事象を見せ、比べることで問題を見出せるようにする。</p>	<p>授業中の発表、ノートや観察カードでの表現を評価する。 評価テストを活用して、学習内容の定着を確認する。</p>
<p>音楽科</p>	<p>リコーダーの構え方と運指を確認して、練習曲を演奏している。歌唱のレパートリーを広げている</p>	<p>いろいろな音の響きやその組み合わせを楽しむこと。</p>	<p>協働して音の出し方や組み合わせを工夫する活動を通し、様々な音楽に親しむようにする。</p>	<p>活動の様子、発言内容、ワークシート、演奏発表などを通して評価する。</p>
<p>図画工作科</p>	<p>表したいことを考えながら、色や形を工夫して、表現することを楽しんでいる。新しく学ぶ道具に関心を高く持っている。個人差が見られる。</p>	<p>① 感じたことや、想像したこと、見たことから、表したいことを見つけて表すこと。 ② 材料や用具の特徴を生かし、表し方を工夫すること。</p>	<p>① 友達の完成した作品だけではなく、制作過程の作品を提示し、活動の意欲につなげる。 ② 材料や用具について正しい使い方や特徴を学習する時間を設定する。学習補助員を活用し個別指導を充実する。</p>	<p>活動の様子・発言・作品などを通して評価する。</p>
<p>体育科</p>	<p>運動への関心が高く、課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>運動によって、意欲や技能の個人差が大きいこと。</p>	<p>活動内容や場の工夫を行ったり、個別に技能を習熟させる時間を確保したりして、達成感を味わわせることで運動への意欲の幅を広げるようにする。</p>	<p>運動の様子や発言、振り返りカードなどから評価する。</p>

<p>外国語活動</p>	<p>外国語の授業を楽しみにしている児童が多い。アクティビティやチャンツを通して、外国語で伝えることを楽しんでいる。</p>	<p>アクティビティの時間に、フレーズが出てこないこと。</p>	<p>簡単なフレーズを繰り返させるなど、全員が発音できる機会を多く設ける。</p>	<p>活動の様子、振り返りカードなどを通して評価する。</p>
<p>道徳</p>	<p>登場人物の気持ちに共感することで、道徳的心情・態度を養っている。展開後段の自分のこととなると自分の考えを持つことができない児童がいる。</p>	<p>道徳的価値の理解、人間理解、他者理解について深めていくよう指導の工夫をすること。自分のことについて意見を書いたり発言したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の意義及びその大切さの理解を基に、物事を多面的・多角的に考えさせる。 ・自己の生き方の課題を見付け、それを解決していこうとする思いや願いを深めることができるように、学級全体での話し合いや議論を充実させていく。 	<p>自分の考えやその変容などを、ワークシートの記述や発表の内容で評価する。</p>